

講義名	基礎経済学（3年生以上）		
科目区分	学部専門基礎 必修		
担当教員	羽森 直子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	22087

主題と概要

賃金や物価（インフレやデフレ）の問題、あるいは為替レートの問題など、日々の新聞やニュースで経済問題が論じられない日はありません。このような経済問題を理解する道具としての経済学の基礎を学びます。
 具体的には、現在の経済理論における大きな柱であるミクロ経済学とマクロ経済学を取り上げて、その基本部分を講義します。ミクロ経済学では、われわれの経済活動を支えている市場の役割と限界を勉強します。またマクロ経済学では、経済活動の規模を測る指標であるGDPや、貿易不均衡、中央銀行が行う金融政策などに触れます。経済理論は抽象的で、一見すると難しいと感じるでしょうが、できるかぎり現実の具体的事例に触れながら説明します。
 本講義は、経済学部のカリキュラムにおいて、上級年次で学習する金融、財政学、労働経済学などとの橋渡しとなるように、基本的理論を学ぶことに主眼を置いています。

到達目標

- ・経済学の方法論や考え方を身につける。
- ・現実の経済問題を理論的に捉えることができるようになる。

提出課題

期間中にレポート課題の提出があります。

評価の基準

小テスト（約10回）、出欠レポート

履修にあたっての注意・助言他

経済学入門を履修済みであることが望ましい。
 新聞、雑誌及びニュースを参照して、常に社会の動向に気を配ってください。
 途中の入退出(遅刻の限度)は授業開始後15分までです。

教科書

・マンキュー入門経済学（第2版） N.グレゴリー マンキュー 東洋経済新報社 3456円

プリント資料及び参考文献

N.グレゴリー マンキュー 『マンキュー経済学I ミクロ編(第3版)』足立英之ほか(翻訳)、東洋経済新報社、2013年。
 N.グレゴリー マンキュー 『マンキュー経済学II マクロ編(第3版)』足立英之ほか(翻訳)、東洋経済新報社、2014年。
 また、日本語の教科書も膨大な数が出版されていますが、授業で適宜参照するものとして、中谷武・中村保『1からの経済学』碩学舎、2010年。
 をあげておきます。このほかの文献は授業時に紹介します。

授業計画

1. 経済学の十大原理(第1章)
2. 経済学者らしく考える(第2章)
3. 市場における需要と供給の作用(第4章)
4. 市場における需要と供給の作用(第4章)
5. 需要、供給、および政府の政策(第5章)
6. 需要、供給、および政府の政策(第5章)
7. 消費者、生産者、市場の効率性(第6章)
8. 中間テスト+前半の復習
9. 消費者、生産者、市場の効率性(第6章)
10. 外部性(第7章)
11. 国民所得の測定(第8章)、生計費の測定(第9章)
12. 生産と成長(第10章)
13. 生産と成長(第10章)
14. 貯蓄、投資と金融システム(1)(第11章)
15. 貯蓄、投資と金融システム(2)(第11章)

予習・復習

予習・・・論文や書籍、または新聞やニュース記事などを通じて、関連するテーマについてまとめてきてもらうことがあります。(30時間)
 復習・・・毎回配布するプリントと教科書を復習してください。次回までに提出するクイズや課題を出すことがあります。(30時間)

備考

教科書を必ず用意してください。